

知ってる? おかやまの森のこと

VOL.1

山に木が生えていなかった!?

面積の約70%が森林におおわれた豊かな自然を持つ岡山県。実は昔、多くの山々に、木が生えていない頃がありました。

山の木は、薪(まき)などの燃料や、家や身の回りの道具を作る材料として、くらしの中で大切に使われてきました。ところが、戦争のあった頃、一度に

多量の木を使ったため、山に木がなくなり、自然の力では元に戻らなくなってしまったのです。

今の森林の姿は、そんなはげ山を見た人々が、子や孫に豊かな森林として引き継いでいこうとの強い思いを持って、大変な苦勞をして再生したもののなのです。



昭和30年頃の玉野市神登山付近



岡山県マスコット ももっち

江戸時代、県南部にははげ山が多く、洪水や干ばつが繰り返される中、熊沢蕃山が備前藩主池田光政公に「水を治めんには、先ず山を治めよ」と森林の重要性を申し出て、現在の岡山市郊外に植林したことが、岡山の治山の始まりといわれています。

おかやま森づくり県民税は、岡山の森林を守り育てるために活用されています。

おかやま森づくり県民税

検索

岡山県農林水産部林政課